

ヤマハ発動機販売(株)

電動アシスト自転車 安全普及活動事例



**ヤマハ発動機販売株式会社
安全普及推進本部**

令和7年9月5日



Revs Your Heart

感動創造企業



ヤマハ発動機は、1955年に誕生した125ccエンジンを原点に、様々な技術を研磨するなかでパワートレイン、電子制御、車体・艇体、生産の4つのコア技術を軸に、事業と製品、そしてお客様を拡げてきました。そして、「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」ことを目的に、人々の夢を知恵と情熱で実現し、つねに「次の感動」を期待される企業、“感動創造企業”を目指しています。

マリン



マリンエンジン



ボート



ウォータービークル

ロボティクス



サーフェスマウンター
(表面実装機)・産業用ロボット・
半導体製造装置



産業用無人航空機



ATV (四輪バギー)・
ROV (レクリエーション・オフハイ
ウェイ・ビークル)



ゴルフカー

ランドモビリティ



二輪車



電動アシスト自転車



電動車椅子



自動車用エンジン



部品・用品

その他



プレジャーボート係留施設



小型浄水器



MC
(モーターサイクル)



1993から発売を開始した
【電動アシスト自転車】は、
現在大きな経営の柱へ成長
⇒2015から発売の
スポーツ電動アシスト
自転車【eBike=YPJ】
も堅調

PAS



eBike
(YPJ)



**部品・
用品**



輸送機器メーカーとして、ヤマハらしさ = 〈“安全”も高品質〉 〈楽しい!〉 〈感動創造〉
に拘わり、電動アシスト自転車や二輪車の安全普及活動を行う



2つの商材を分けて
安全普及活動

電動アシスト自転車PAS

ポイント◆ 普段の乗り方における安全訴求

① 購入者年齢層拡大から、その年代にあつた受講内容や動員告知活動が必要

学生（高校生～通学需要）

⇒ 今後、中学生の通塾需要の可能性も

ママ+パパさん（子乗せ需要）

高齢者（免許返納者等の需要） など

② 自転車安全利用五則を始め現在の交通ルールの教育が非常に大事

③ 自治体や関係団体（警察・安全協会・学校等）の協力が不可欠



eBike

ポイント◆ 安全な楽しみ方とは

① 都市部以外で利用のレジャー用途多く、マナーアップ啓蒙が大事。
事故や違反しない交通マナーアップだけでなく環境破壊に繋がらない行動を則す【地域への思いやり】

【ニュース】 通行止めを突破し、林道を走るオフロードバイクに苦慮

※掲載日：2017年8月16日

本格的な夏の行楽シーズンを迎え、埼玉県飯能市の山間部で道路を管理する行政・警察が頭を悩ませている。通行止めを突破し、林道を走るオフロードバイクが後を絶たず、有効な手立てが打てないため。市内の国道299号の峠道を猛スピードで走る「ローリング族」とともに、もう一つの交通課題への対応に苦慮している。

② 年齢層40代から上が中心だが、ご家族で楽しむ層や女性層増加に呼応した取り組みも今後必要

③ 安全な専用コースとの連携必要

70年後半～
80年代の
原付自転車
安全講習に
近い

趣味性の
高さもあり、
二輪車の安全
講習に非常に
近い

電動アシスト自転車とeBikeの 安全普及活動の差



項目	電動アシスト自転車（PAS）	eBike（YPJ）
講習主催者	ヤマハ単独での主催は現在無し 主催者（自治体・警察・業界団体・民間団体等）から安全講習の開催打診、協力依頼があった場合に対応	ヤマハ主催がほとんどであるが、オフロードコース主催イベントへのJOINTも
講習場所	自動車教習所・自治体施設駐車場やイベント会場、大型商業施設駐車場やイベントスペース → エリアは現在、首都圏・中部圏・近畿圏が中心、ローカルエリアはほぼ無し	専用オフロードコース等 走行30km前後のツアー企画内での交通法規ブリーフィング
告知方法	主催者からの情報発信が中心、ヤマハはそれを SNSやブログ記事等でサポート	ヤマハHPや販売店店頭、及び開催コースの情報発信等
講習場所まで受講者の移動距離	おおおよそ5キロ以内基本 （大型商業施設の場合この限りではないが、それでも4輪で10～20分以内か）	2～30キロ（自走）から100～150キロ（4輪トランプ積載）
受講料	保険代のみ（300円）徴収が多い	車両持ち込み3,000円 レンタル6,000円
講師	社員+ヤマハ契約インストラクター（ 自転車安全運転指導員か二輪車安全運転指導員資格保有 ）	



官民連携協議会の内容に即し、今回のヤマハ安全普及発表では左側の電動アシスト自転車における安全普及活動に絞り説明

【神奈川県 高齢者向け安全運転講習会】

実施日 : 11月11日(木)

会場 : 辻堂海浜公園 交通公園

概要 : 19年より実施の高齢者向け講習、春と秋に開催



【埼玉県 高齢者向け安全利用講習会】

実施日 : 11月15日(月)

会場 : うらわ自動車教習所

概要 : 埼玉県警本部交通総務課主催高齢者向け講習、受講者は埼玉県内7警察署より動員



【京都府警下鴨警察署幼稚園関係者講習会】

実施日 : 7月24日(土)・25日(日)

会場 : 宝ヶ池自動車教習所

概要 : 教諭、保育士が幼児と保護者に対する電動アシスト自転車利用時の交通安全指導を効果的に実施する事が出来る様、知識・技術の向上を図るもの



【東京都 自転車交通安全教室】

実施日 : 12月28日(火)

会場 : 武蔵境自動車教習所

概要 : 東京都庁主催による自転車利用者への安全啓蒙イベント



【大阪府淀川警察署 高齢者交通安全教室】

＜実施内容＞

実施日：5月17日（金）

会場：淀川区野中南公園

- ・淀川警察署交通課との連携により、自身の自転車を利用し交通ルール、安全運転の啓発。試乗時間は約45分。
- ・老人クラブへは事前にヤマハの電動アシスト自転車を試乗できることを伝えていただき、当日は別途誓約書を取得してSNSの投稿やWEBサイトへの掲載も了承いただく。当日中にXに投稿済み。



【神奈川県相模台地区 24年電動アシスト自転車安全教室】

＜実施内容＞

実施日：11月7日(木)

会場：相模台団地集会所

- ・相模台地区交通安全母の会主催。相模原南警察署交通課と連携し、相模台地区の自転車安全普及に向け講習会を実施。
- ・ヘルメット着用推進、電動アシスト自転車の安全な乗り方と自転車交通ルールの啓発。



【警視庁蒲田警察署 町会対抗高齢者自転車競技会】

＜実施内容＞

実施日：3月22日（金）

会場：大田区産業プラザPIO 大展示ホール1F

- ・蒲田警察署主導での地域に対しての安全普及活動の一環として開催
- ・シニア層に向けて交通法規を元に試乗を実施。安全運転とヘルメット装着の啓発



【大阪府東成交通安全フェア】

＜実施内容＞

実施日11月4日（月）

会場：コクヨ株式会社駐車場

- ・東成警察署交通課と連携し、3世代の自転車の安全利用についてイベントを実施。 ヤマハは電動アシスト自転車の試乗機会を活用し、チラシを配布して安全運転の啓発。
- ・他自転車シュミレーターや交通安全教室後にビンゴ大会で自転車用ヘルメットプレゼント。



【いしかわ環境フェア2024】

＜実施内容＞

実施日8月24日（土）～25日（日）

会場：石川県産業展示館

- ・電動アシスト自転車、スポーツ自転車、ヘルメット、電動車イスを体感し安全利用を啓発。
- ・乗り物関連ブースはヤマハ以外に石川県自転車組合、福祉機器関連企業、石川県警交通安全課が出展。



【京都市自転車安全利用推進企業 自転車安全運転講習】

＜実施内容＞

実施日：9月13日（金）

会場：京都市役所分庁舎

- ・京都府警察、京都市との自転車安全普及での連携による、電動アシスト自転車の理解、事故の抑止
- ・電動アシスト自転車での安全運転、利用方法の講習。PAS With 実車を使った説明。



【埼玉県警 サイクルマナーアップ・クレヨンしんちゃんキャンペーン】

＜実施内容＞

実施日：4月26日（金）

会場：イオンモール春日部（1階 藤の広場）

- ・ヘルメット装着の啓発活動、子供乗せ自転車の安全利用と交通ルールのレクチャー
- ・参加企業：ヤマハ（電動アシスト自転車、ヘルメット）、ブリヂストン様（ヘルメット）、ホダカ様（ヘルメット）
- ・前後子乗せ方法の実演、ヘルメット装着実演による自転車安全利用の啓発。



【バイコロジーフェスタ2024 in KCSC】

＜実施内容＞

実施日：5月26日（日）

会場：関西サイクルスポーツセンター(大阪府河内長野市)

- ・『自転車が安全かつ快適に利用できる環境をつくる』ことを目標とするバイコロジー運動に賛同したイベント。
- ・メーカー系出展は、ヤマハ以外もあり。他には大阪府警、自転車組合、大阪サイクリング協会等。
- ・園内のコース使用し電動アシスト自転車の乗り方体感、安全運転の啓発。



【おやこじてんしゃプロジェクト 豊洲親子フェスタ】

＜実施内容＞

実施日：3月22日（金）

会場：豊洲文化センター 1F ギャラリー

- ・保育園及び幼稚園に入園予定の親子に対して、交通ルールや子ども乗せ自転車の安全利用を伝える。
- ・ステージイベントで安全な乗り方、子供の乗せ方、降りし方、選び方をレクチャー。

出展企業：ヤマハ発動機販売・OGKカブト様・OGK技研様



最新の自転車交通ルール
やマナー理解促進

最新の自転車交通ルールを知らない受講者も多く（特に高齢者）
確実な理解促進が必要。ツール類によるフォロー大切

講習開催場所近辺の走行
注意ポイントを説明

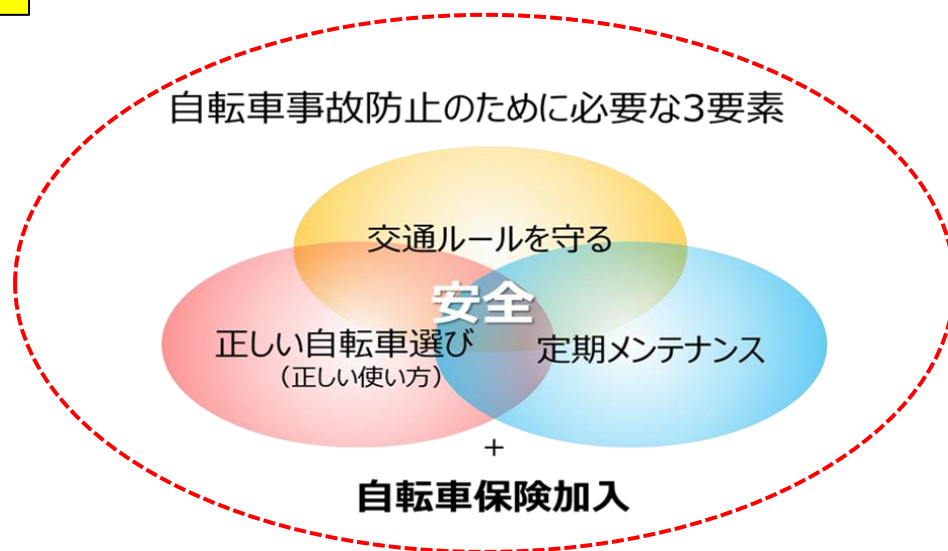
全国の事故状況よりも、受講者の活動エリア内における自転車
走行時の注意点を具体的に説明することが大切、参画意識高める

【電動アシスト自転車は
危険】の誤解をとく

【電動アシスト自転車＝際限なくスピードが出て危ない】の様な
誤解をとく、【一時停止からの速度回復も極めてスムーズ】の
ように交通ルール遵守に繋がるポイントもアピール

メンテナンスの重要性も
しっかり説明

バッテリー＋ユニットだけでなく、ブレーキやタイヤメンテナンス
の重要性も忘れずアピールする（＋自転車保険加入の重要性も）



目次

- 1 自転車事故の現状 (全国とエリア内)
- 2 基本的な交通ルール (自転車安全利用5則)
- 3 電動アシスト自転車の特徴
- 4 自転車を安全に乗るために
- 5 利用前の準備と事故時の対処
- 6 安全な取り扱い方
- 7 まとめ

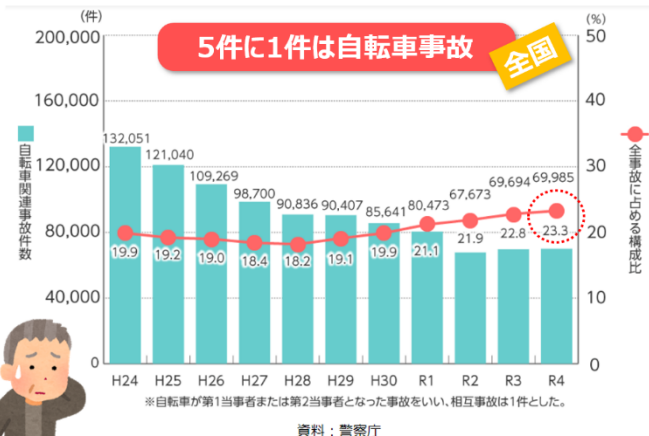
出典
警察庁 政府広報オンライン/ 警視庁交通事故データ/東京都青少年・治安対策本部
ヤマハ安全普及推進本部



安全講習座学内容 例 1

1 自転車事故の現状 ~自転車関連事故の特徴~

自転車の交通事故は、全交通事故の約2割



警察庁交通事故データより

1 自転車事故の現状 ~自転車関連事故の特徴~

東京都など都市部においてはさらに深刻
約46%が
自転車に絡んだ交通事故

交通事故全体に占める自転車関与事故の推移

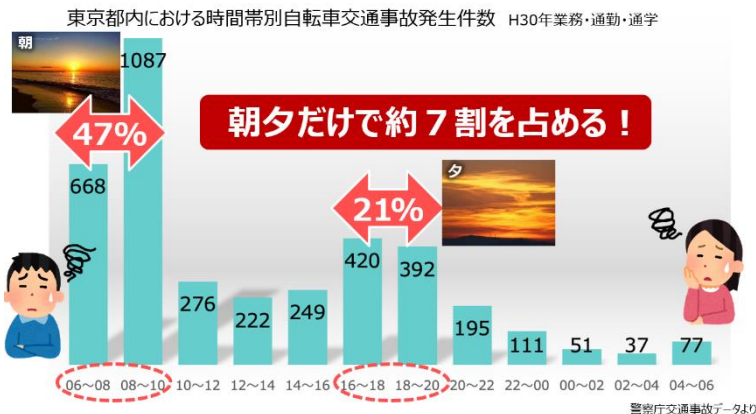


約半数近くが自転車事故

警察庁交通事故データより

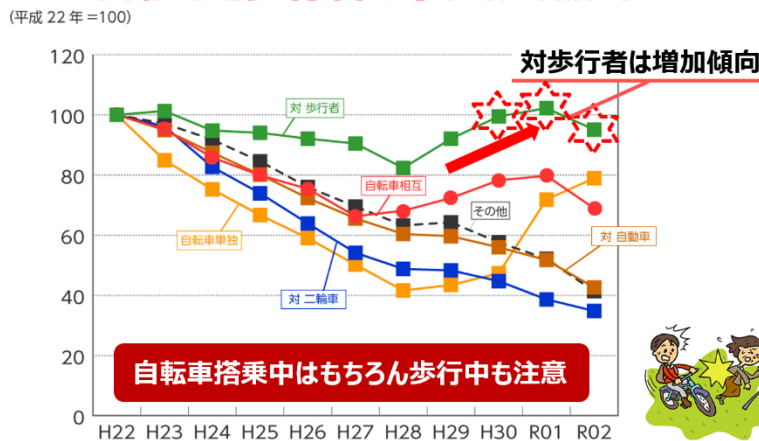
1 自転車事故の現状 ~自転車関連事故の特徴~

朝夕の通勤通学時間帯が危ない！



1 自転車事故の現状 ~自転車関連事故の特徴~

自転車と歩行者の事故が増加中！

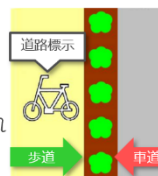


2 基本的な交通ルール ~自転車の通行場所~

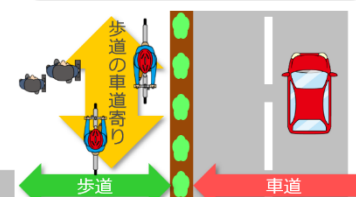
歩道は歩行者優先！

歩道通行の条件

- 1 道路標識等がある場合
- 2 ・13歳未満の子供
・70歳以上の高齢者、
・身体の不自由な人が
自転車運転している場合
- 3 自転車の通行の
安全を確保するために
やむを得ないと認められ
る場合



歩道通行の通行方法



- 歩道は徐行（すぐに止まれる速さ）
- 歩行者の通行を妨げるときは一時停止

※大きさ、形状等が一定の要件を満たす「普通自転車」に限る。

違反に対する罰則 2万円以下の罰金または科料

安全講習座学内容 例2

3 電動アシスト自転車の特徴

■普通自転車との比較

- ・発進時の負荷が少なく、楽にこぎ始めることができます。
ふらつきも少ない。上り坂も楽に上れる。向かい風でも楽々。
一時停止でキッチリ止まって再スタートは楽チン！
- ・ドライブユニットとバッテリーを載せているため普通自転車に比べ重い。
(モーター)

メインスイッチ

メインスイッチ

バッテリー



ドライブユニット (モーター)

！ご注意ください！

☆信号待ちなど停車中は
ペダルに足を載せないで！
不用意なアシストがはたらき、転倒や
接触事故によるけがのおそれがあります。

☆ケンケン乗りはやめましょう！
不用意なアシストによりバランスを
崩し転倒するおそれがあります。

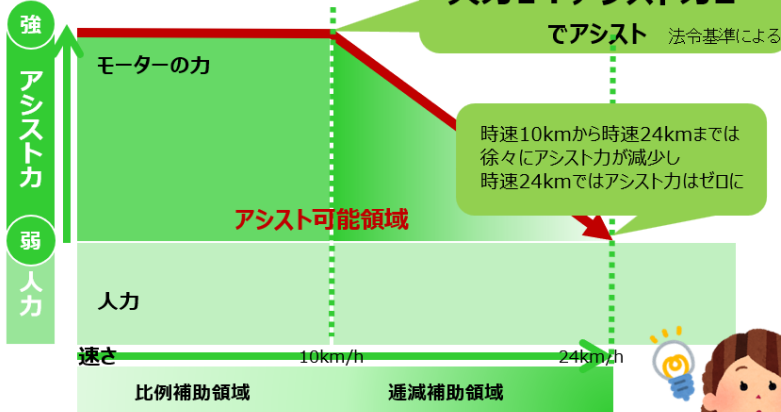
☆停止直前の飛び降りは危険！
思わぬ転倒の危険があります。
停止してから降りましょう。



3 電動アシスト自転車の特徴

■アシスト力のイメージ

ここではアシストの法令基準について説明しています。
商品のアシスト比を表しているものではありません。



スピードやアシスト力を制御するのは人間です。
ペダルを漕ぐ力は適切に加減しましょう。



5 利用前の準備と事故時の対処

■事故の対処

状況確認



負傷者の救護



道路の危険防止



警察への通報



5 利用前の準備と事故時の対処

交通事故への備えも大切！

加害者になれば、多額の損害賠償責任が！
被害者になれば、死亡という結果も！！

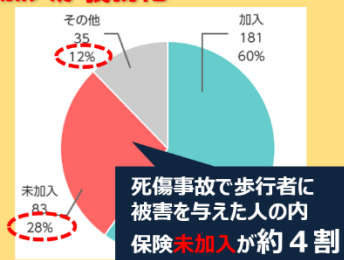


損害賠償責任保険等に参加しましょう。

全国の都道府県で保険加入が義務化

☆過去の事故事例では、事故を起こした自転車運転者やその家族に数千万円の損害賠償を求める裁判例もあります。

☆自転車と歩行者の事故では、24歳以下の若い自転車運転者が当事者となる場合が多い状況にあります。自分の家族が保険に加入しているか家庭で確認しましょう。



7 まとめ

「安全」は全てに優先する！

・交通事故は偶然に起こるものではありません！

交通事故には必ず原因が存在し、
その原因により起こるべくして起きています。

《事故は偶然ではなく必然》 結果 ↔ 原因
交通事故 ↔ 交通違反等

お互いルールとマナーを守って
事故のない安全な社会を目指しましょう！

講習お疲れ様でした。



課題	具体的内容
ア 指導体制	①社員＋契約インストラクターは首都圏や近畿圏在住者が多く、ローカルエリアからの講習開催依頼があった場合対応難しい。日程が重なった場合も対応苦慮 ②【働き方改革】【物流2024年問題】等で人・モノの移動について非常に気も遣う、またコストも上昇中
イ 講習内容	③二輪車安全運転講習と比較すると、教える基準やポイントがややはっきりしておらず、主催者任せの印象（年齢層の幅広さも影響か） ④コロナ禍以降、新モビリティ【電動中心】続々登場、すべて第1レーン（車線）に押し込まれた印象、運転免許の要否（交通ルール理解度差）・速度差大・台数の増加等の影響から、かなり危険な状況→自転車だけでなく他のモビリティユーザーへの交通安全教育も重要となってきた ⇒新モビリティへの対応はどこが行っていくのか？
ウ 講習会告知動員	⑤動員に苦戦する主催者がほとんど、効果的な告知動員方法は何か？
エ 販売店様役割	⑥EC普及の流れの中【売りっぱなし】が増加していないか・・・自転車購入者への交通安全啓発・指導やメンテナンスの重要性訴求において、販売店様の店頭は非常に重要であったが。。。上記イー④の新モビリティへの教育にも関係
オ その他	⑦安全講習会受講者以外の利用者への安全啓発は、何が効果的か？

近々では、アが最大の課題・・・自転車安全運転指導員の拡大に加えエリア毎の布石が必要

ご清聴ありがとうございました



ヤマハ発動機販売株式会社
安全普及推進本部